

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

リツキシマブ療法

【難治性ネフローゼ症候群】

1 週毎 4 コース予定
疾患名 難治性ネフローゼ症候群

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

リツキサン(リツキシマブ) 375 mg/m ² (最大 500mg)	day 1 ↓
--	------------

- 【注意】 * 初回投与は必ず入院で実施すること。
 * 体温・脈拍・血圧測定・SpO2 測定は up 直前におこなうこと
 * 小児は投与速度が異なるため、小児リツキシマブ療法【難治性ネフローゼ症候群】のレジメンを使用すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

【初回】 * 初回投与は必ず入院で実施

- ① カロナール錠 500 mg _____ 錠 内服
 ポララミン錠 2 mg _____ 錠 内服
 ☆30 分後より
- ② 生食 500 mL にて血管確保 _____ 維持 (20 mL/時間)
- ③ リツキサン _____ + 生食 適量 (10 倍希釈)
 ◎ 輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注
- ④ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 150 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑦ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 250 mL/時間で点滴静注
- ⑧ 250 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注

【2回目以降】 1コースにおいて発現した有害事象が Grade 2 以下であった場合

- ① カロナール錠 500 mg _____ 錠
 ポララミン錠 2 mg _____ 錠 内服
 ☆30 分後より
- ② 生食 500 mL にて血管確保 _____ 維持 (20 mL/時間)
- ③ リツキサン _____ + 生食 適量 (10 倍希釈)
 ◎ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ④ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 200 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 300 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ
 ◎ 輸液ポンプにて 400 mL/時間で点滴静注

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
リツキサン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				